

令和2年7月1日

保護者 各位

上市町教育委員会

感染症への意識を今一度（第32報）

過日、新しい生活様式と学校の新しい生活様式が示され、引き続き、身体的な距離をとることや、咳エチケットや手洗いの励行、マスクの着用などが求められています。一方、マスクの着用による熱中症のリスクもあること、感染者の発生が1ヶ月余りないこと、全国の移動制限の解除などもあり、新しい生活様式への意識も、徐々に薄れてきていることはないでしょうか。

最近、海外では感染者が増え続けている国々があります。また、国内では、感染者の発生が見られる首都圏などからの移動により、各地で感染者の発生が懸念されます。

今一度、この感染症への対応として、一人ひとりに求められる向き合い方を振り返りたいものです。

また、この感染症のワクチンや特効薬がつくられていないことに思いを巡らすとき、一人ひとりが交通安全や防災への意識とともに感染症への危機意識の高まりが求められていると思います。

複数の人が集まり群れるのが人間の特性です。そのこととは、真逆の行動が求められているのですから、無意識であれば群れてしまいます。意識して距離をとることを心がけながら、基本的なマナーを守ることに努めなければなりません。

学校では、しっかりと距離をとることや、マナーを守ることを求めながら、子どもたちは毎日の生活を送っています。

また、この感染症について、医療従事者への偏見なども見られると聞いています。命がけで業務に従事されていることを十分に認識し、しっかりと感謝の気持ちを示したいものです。

ご家族でも、これらのことについて、話し合ってみていただければ幸いです。